各会議等の実施状況報告について	提出日	令和８年 10 月 5 日
	担当課	スポーツ・生涯学習課

会議名称　第１回　湖西市生涯学習推進協議会
開催日時　令和８年９月３０日（水）１３：３０～１４：２０
開催場所　市民活動センター２階　大会議室
出 席 者　委　員：６名
　　事務局：３名　　【計９名】

１．開会
２．協議事項

（１） 生涯学習推進に関連する主な事業について(事務局説明)
委　員：特に意見無く了承。

（２）各組織・団体における生涯学習の取組事例について
委　員：私は大正琴と天女琴を教えており、文化協会全体では高齢化、所属部会・会員の減少、活動継続の難しさが進んでいる。働き続ける高齢者も多く、趣味や習い事に時間を割く人が減っている。市の補助により子どもの会費を半額にする取組は、保護者にとっても有益だと考えている一方、新規の子ども会員獲得も容易ではない。保育園でのボランティア演奏・指導を体験した小学校 5 年生が大正琴を習い始めた。子どもの参加は高齢の会員にとっても励みになる。伝統的な活動を次世代につなげ、幅広い世代が共に楽しめる場にしたい。
委　員：生涯学習推進懇談会について、自治会役員経験者等を中心とするスタッフの平均年齢が 73～74 歳程度であり、高齢化と固定化が課題になっている。参加者も男性は 1～2 割程度と少なく、男性の参加を増やす方法を検討している。定期講座は月 1 回・5 か月間、全 10 回程度で実施し、約 40 人が参加している。このほか、10 月 30 日の「フルートと琴のしらべ」、健康福祉講座、11 月 21 日に予定する市長講演会、12 月 12 日のサクソフォン演奏会、終活セミナー等を実施する。演奏会には約 70 人が参加する場合もあり、出演者に失礼のないよう一定の参加者数を確保することを意識している。
委　員：老人クラブ連合会の会員が約 1,200 人であり、グラウンドゴルフ、卓球、輪投げ、ペタンク等のスポーツ活動、研修、ウォーキング、旅行等を実施している。寿大学では年 2 回の研修旅行も行っている。高齢者にとってスマートフォンの操作が分からない際、すぐに尋ねられる場所や人が身近にいないことが困りごとになっている。デジタル化に対応する講座等があっても、困った場面で個別に相談できるところがほしい。地区の老人クラブでは、会員以外にも声を掛け、花見等を行い、参加を契機に老人クラブへの加入につながる場合がある。
委　員：ピラティス指導者として、親子ふれあい講座を今年度も担当している。親子講座では、同年代の子どもを持つ保護者が悩みや共通する経験を話しながら参加でき、和やかな交流の場になる。また、仕事後に運動したい人もいるため、時間帯・会場を広げることで需要が見込める。ピラティスは幅広い年齢層が取り組め、多少の不調を抱える人にも対応し得る運動である。市が講座を実施することで、参加者にとっては比較的安価に参加でき、講師側にも収入となる。
委　員：ダンスインストラクターとして、昨年度からわくわくこども教室を担当している。産休中の

ため一部参加できなかったが、2月の教室から復帰する予定であり、通常のインストラクター業務には既に復帰している。放課後・学童の時間帯に実施されるため、保護者の送迎が不要であり、共働き家庭でも参加しやすいことから、参加者が比較的多かったと感じている。子どもにとって、友達と一緒に参加する放課後教室は、スタジオへ直接通うよりもダンスを始める第一歩になりやすい。教室を通じて自身のスタジオレッスンの生徒も増え、総勢50人となった。

委　員：労働者が集まる団体として、市民の要望を行政へ伝える活動、公園の存在を周知するチラシ作成、役員向けの成年後見制度学習会、地域イベントでの出店等を行っている。また、組合員から集めた生活支援品を販売し、その収益や文具を外国籍の子どもへの学習支援や学校に行きにくい子どもを支援する施設へ寄付・寄贈している。今年度は自治会等と協力し、地域の公園遊具の塗装を子どもたちと行うイベントを企画中である。子どもを支援する施設で文具や学習用品を必要としている場所があれば知りたい。

（3）意見交換

事務局：子ども向け事業ではLINE、広報紙、学校を通じた連絡媒体等を使える一方、高齢者を含む層に最も届きやすい広報手段を知りたい。

委　員：スタッフ間でLINEを使って情報やチラシを共有・拡散し、講座参加者へ別講座のA5判チラシを配布している。図書館等へのチラシ掲示も活用している。

委　員：老人クラブでは年1回程度のパンフレット配布、会員からの声掛け、地域行事への参加勧誘等が参加者・会員の拡大につながる。

委　員：文化協会では部会ごとに教室や流派が異なるため、各部会が個別に生徒を集める構造である。芸能祭・文化祭等の告知はポスター、チラシ、口コミが中心で、連絡事項にはLINEを使う場合もあるが、電話、FAX、メールを中心に活用しており、LINE利用は進んでいるものの、スマートフォン操作に不慣れな人もいる。

3．閉会

以上